

小山市事務事業評価シート

令和元年度版

No. 43

1. 基本情報				
<1> 事業・業務名	栗宮新都心第一地区土地区画整理事業		<2> 事業・業務の別	事業
<3> 選定基準	② 平成30年度に事業内容(対象・手段等)を見直した事務事業		<4> 継続評価 新規評価の別	継続評価
<5> 総合計画基本計画での体系	大項目	5 災害に強く 快適で住みよい 夢を支えるまちづくり	<6> 担当部(局)	都市整備部
	中項目	5-3 みんなの暮らしを支える生活基盤整備	<7> 担当所属	区画整理課
	小項目	5-3-1 市街地整備	<8> 担当係等	思川西部・栗宮地区指導係
	施策	土地区画整理事業の推進		
<9> 根拠法令・計画等	都市計画法・土地区画整理法・土地区画整理事業助成規則	<10> 関連・類似事業	思川西部土地区画整理事業	
<11> 会計	一般	会計	<12> 予算科目	8 款 4 項 2 目
<13> 実施期間	26 年度 ~ 31 年度	<14> 全体事業費	118,908 千円	
<15> 実施手法	全部委託 「その他」の場合 ()			

2. Do - 実施 -

<16> 事業・業務の概要	大字栗宮・大字千駄塚地内の約20ヘクタールの地区において組合施行による土地区画整理事業を行う。							
目的	<17> 事業・業務の目的	組合設立の認可を得る 区画整理事業により住みよいまちをつくる、良好な宅地を生み出す、定住人口を増加させる						
	<18> 事業・業務の対象	小山市栗宮新都心第一土地区画整理組合設立準備会 小山市栗宮新都心第一土地区画整理組合、地権者						
手段	<19> 平成30年度の活動内容	区画整理専門コンサルタントを派遣する 区画整理事業の計画を作成する 地区界測量を実施する						
	<20> 活動指標 (活動した量や実績)	指標名	単位	平成29年度		平成30年度		
				計画	実績	計画	実績	達成率(%)
		準備会の開催	回	12	12	12	12	100.0%
	全体説明会の開催	回	1	1	1	1	100.0%	
成果	<21> 事業・業務の成果	区画整理事業を計画するうえで関係する地権者に説明を行い理解してもらう。 区画整理事業を計画するうえで関係機関に説明意見を聴き事業内容を調整する。						
	<22> 成果指標 (活動の成果の量や実績)	指標名	単位	平成29年度		平成30年度		
				計画	実績	計画	実績	達成率(%)
		地区界立会承認書の提出率	%	100	91	99	97	98.0%
	協議を始める関係機関の数	%	14	3	14	3	21.4%	
資源	<23> 投入指標 (投入するお金の量)	コスト実績	単位	平成29年度		平成30年度		
				計画	実績	計画	実績	投入率(%)
		千円	45,756	45,738	55,717	36,821	66.1%	
	事業費等	千円	40,000	39,982	50,000	31,104	62.2%	
	財源内訳	国・県補助金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	40,000	39,982	50,000	31,104	62.2%
	人件費	千円	5,756	5,756	5,717	5,717	100.0%	
	正職員	千円 × 人役	7,195 × 0.8	7,195 × 0.8	7,146 × 0.8	7,146 × 0.8		
	他の職員	千円 × 人役	×	×	×	×		

3. Check - 評価 -

実績評価	妥当性	<24> 事務事業を実施する目的や対象は妥当か?	1.妥当である
		<25> 事務事業を実施する手段や実施手法は妥当か?	1.妥当である
		<26> 事務事業の実施に対する市民ニーズはあるか?	2.変わらずにある
		<27> 今後も市が実施する事務事業として妥当か?	1.妥当である
	有効性	<28> 事務事業の成果の向上の余地はあるか?	2.向上の余地はない
		<29> (総合計画基本計画)施策への貢献度は大きいか?	1.大きい
	効率性	<30> 事務事業の効率の向上の余地はあるか?	2.向上の余地はない
		<31> 民間への外部化(民営化・業務委託等)は可能か?	4.実施済み
公平性	<32> 受益者負担の水準は妥当だと考えられるか?	4.該当しない	
<33> 総合評価 (事業全体の改善の余地)	3.改善の余地はない	理由	事務事業は人と企業を呼び込む施策に合致しており、その推進にあたっては専門コンサルタントを派遣している。

4. Action - 改善 -

事業の改善	<34> 事業の課題 事業の改善点 今後の方針	課題:準備会、コンサル、市とで組合設立に向けた作業を進めているが、一部の地権者に地区界測量の立会い等の協力を得られない事態が生じている。 改善点:事業に反対する地権者の要求を明確に引き出すため応対者がアプローチを工夫する。 方針:三者の連携を更に強化して課題の解決に取り組む。		
	<35> 1次評価	所属長	3.現状維持	理由 栗宮新都心第一土地区画整理事業は、計画的な都市基盤整備を実施するため今年度都市計画決定を行っており、事業の実現に向けて継続した支援が必要である。今後も組合設立に遅れが生じないように、進行管理を実施しながら事業を推進していく。
	<36> 2次評価	所管部長	3.現状維持	理由 栗宮新都心第一土地区画整理事業は市総合計画の重点施策に位置づけられており、土地区画整理事業による計画的なまちづくりを実現することにより定住人口の増加や栗宮新都心構想の実現につながることから、事業を実現させるため継続した支援が必要である。

5 Plan - 計画 -

事業の計画	<37> 実施計画	・関係機関との協議 ・事業計画書、定款の作成 ・同意書のとりまとめ				
	<38> 活動・成果目標	・準備会を組合にする	<39> コスト計画	単位	令和元年度	令和2年度
					計画	計画
			千円	20,217	399,717	
	事業費等	千円	14,500	394,000		
	人件費	千円	5,717	5,717		